

梅窓院通信

お盆号

No. 101

2019/06/01

青山



ずいき
 昨年の大本山増上寺の御忌法要で随喜する中島住職。大門から大殿までお練り行列が行われる。

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成

今年も半年が過ぎようとしています。皆様お変わりなくいらつしゃいますでしょうか。

さて、今年の盂蘭盆会ですが、従来とは違う形に致します。詳細は本号の三頁をご覧ください。新たに別時法要とお齋(食事)を加えますので、多くの皆様のご参拝をお待ちしております。

今年には桜を長い期間楽しむことができました。あちらこちらで桜花を愛でられた方も多いことでしょう。

私は四月十三日に開かれた内閣主催の「桜を見る会」に参列することになりました。朝八時頃から新宿御苑で開かれ、安倍首相が挨拶される催しで、報道によると一万八千人が参列、芸能人を含む著名人も多数お見掛けしました。梅窓院の檀家であるイタリアンのシェフ、さんもいらつしゃいました。

この会、六十回を超える中で、安倍首相としては八回目となるそうです。一般の方が入場される十時半までの短い行事ですが、貴重な体験をさせていただきました。ただ、どういった理由で私に招待状が届いたのかは、今だに不明のままです。少し早いお知らせですが、M・ファン・デン・ブックさんの体調がまだ思わしくなく、今秋の定例コンサートもお休みとなります。その代わりと言っては失礼ですが、当院でフルート教室を開かれていて、普段は神奈川県厚木をホームグラウンドとして活躍されていらつしゃる浅野奈津美先生と、そのお仲間音楽コンサートをお願い致しました。ソプラノ、フルート、ピアノをお楽しみいただけるコンサートです。詳細は八月末発行の『青山』秋彼岸号でお知らせ致します。

最後になりましたが、六人の新しい職員が入りました。最終面で紹介しています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

仏教歳時風物詩 (46)

お盆の先祖供養

新宿区 香蓮寺住職

勝崎裕彦

い のちへの感謝——いのち尊し、いのちうるわし、ありがたし。

以下、お盆供養の秀句を鑑賞したい。

今、こうして日々の生活をさせていた

としよりのひとりせはしきお盆かな

だいて、拙いながらも一歩一歩の歩みを

新盆や悲しいけれどもいそぐと

ただいて、本当にありがたく、心から

昭和初期、いわゆる「職人境涯俳句」

感謝せずにはいられない。もちろん私

をもつて知られた森川暁水の句の中七

自身、自分一人で生きているとは決し

の「ひとりせはしき」、そして淡々とし

て思えない。家族親族、知人友人、

た秀句に味わいのある田口秋思堂の下

多くの人々とめぐり合い、かかわり合

五の「いそぐと」——、いずれもお

わさせていたでいて、今を生きている

盆供養の心持ちの微妙な動きを、そ

生かされ合わせさせていただいている

こはかとなく巧みに伝えている。

ある。

かのでより父来る盆の帽子掛

そしてこの生きている私こそ、父母、

母の座は常のごとくに盆果つる

祖父母からいただいた尊いのちであ

鈴木鷹夫の亡き父への句、橋爪四季

り、はるかかぎりない遠い祖先から受

の亡き母への句、共に今は亡き父母へ

け継がれてきたうるわしいのちなので

心を寄せる句を静かにスケッチして感

ある。いのち無量、いのち無数、いのち

慨深いものがある。

なつかしい姿が偲ばれる。

また石川桂郎門の神蔵器の句にも、

亡き人へ寄せるそこはかとなない思いが込

められており、そこにすでに亡くなる

れた両親への小さなゆかしい配慮を讀

み取りたい。

杖ついで父の先立つ墓参かな

風と来てかろき母なり墓洗う

最後は、橋本花風と山上樹実雄の

お盆の墓参りの句である。やはり今は

亡き父母への思いがはるかに込められて

いる。

ところで近頃は、従来のあり方とは

様変わりしたお墓の形態も行なわれ

て、たとえば家族墓と樹木葬なども

そうした営みである。すなわち家族

三月・四月の行事報告

平成三十一年春彼岸法要
3月21日(木・祝)



法要



尼僧によって動物慰霊法要が執り行われました。



呈茶



今年も20・21日と郡上八幡物産展を開催致しました。



寄席

増上寺
詠唱奉納大会
4月4日(木)

はなまつり
4月5日(金)
4月8日(月)



詠唱大会



花まつりで飾られる花御堂

(大正大学名誉教授)

お盆 七月十三日(土)

今年から盂蘭盆会法要の前に別時會、
そしてお齋(昼食)を一緒にいただきます。
皆さんのご参拝をお待ちしています。

はんさいべつじえ 半齋別時會

午前十一時

祖師堂

お齋(お食事をいただきます)

午前十二時半

観音堂

盂蘭盆会法要

午後十二時二十分

祖師堂

お たな ぎょう 御棚経

七月十三日～十五日

棚経については同封の別紙「お盆について」をご覧ください。また、不明な点がありましたら梅窓院法務部へお問い合わせ下さい。

盂蘭盆会 塔婆・回向のお申込み方法とお知らせ

◆盂蘭盆会 塔婆・回向お申込み方法

塔婆回向 1 本 10,000円

御回向料 1 霊 5,000円

お申込み方法

同封はがきにご記入の上、7月1日(月)必着でお申込み下さい。
はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

お支払い方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払いはできません。
ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

お盆とは

7～8月に行なわれる日本独自の祖先の霊を祀る行事。この世に戻ってこられるご先祖をご供養する行事で、迎え火や送り火、精霊流しなど地域によって色々な迎え方、ご供養、送り方があります。先祖が戻られる精霊棚を作り、ご先祖様の乗り物に見立てたキュウリやナスを飾るのが一般的なようです。

お盆に寄せて

一蓮托生 パートⅡ

当院の蓮池の蓮も見ごろを迎え、夏の日差しが陰しさをましてありますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、施餓鬼号では一蓮托生についてお話ししました。蓮池に咲く蓮華を見るときには、ぜひ心にとどめて、ご縁の方と共にお生まれできる有難さを感じていただければ幸いです。お念仏の仲間の私達は、この世で別れても、同じ蓮台で再会できます。

一方で、仏教にみられる輪廻の思想では、一度この世でお別れしてしまうと次はどう生まれ変わるかわかりません。人間として生まれることの有難さを法然上人は盲目の亀が大海を漂う浮き木の穴に偶々、頭が収まってしまいうくらい稀なことに譬えていらつしやいます。まして、人間としてもう一度再会を果たすことはより一層稀なことといえましょう。

だからこそ、お浄土の一つの蓮台にも生まれさせていただくことはとても有難いことなのです。ところで、家族や友人と遊園地などへ出かけていたとき、迷子にならないように、予め待ち合わせ場所を決めておくと思心かと思えます。お浄土での再会もそれに似ています。

みひかりの注ぐ蓮華で待ち合わせ

本来、次に生まれる世界に定めのない迷子さながらの私達でも、お念仏によって、必ず生前にご縁の深かった方とお浄土の蓮台で再会することができるのです。さて、今年もお盆が近づいて参りました。先にお浄土へ召された方々がこの世へとお戻りになるといふ行事でございます。梅窓院では七月十三日の盂蘭盆会大法要終了後より、十五日までの間、お棚経がございます。お棚経では、お葬式を出してのち、四十九日を過ぎて初めてお盆を迎える新盆のお宅を中心に、僧侶がご自宅に伺ってお経をあげご供養させていただきます。お勤めの際は、お浄土での再会を願う気持ちで手を合わせ、ご一緒にお念仏していただきたく思います。

台掌(法務部)／中島真紹

おきおさんぽ会

日蓮宗・大本山 池上本門寺

(東急池上線池上駅)

4月15日、大田区池上にある日蓮宗の池上本門寺を参拝しました。池上本門寺は日蓮宗を開かれた日蓮聖人が入滅された霊跡に建立された日蓮宗を代表する寺院で、多くの参拝者が訪れています。

今回は13名でのお寺おさんぽ会となりました。

「南無妙法蓮華經」を称える宗派で、太鼓などを豪快に打ちながら大きな声で称えるお題目は、すごい迫力。今回のお寺おさんぽ会はそのお題目の迫力に触れることから始まりました。

集合場所となった池上駅は、五反田駅と蒲田駅を結ぶ東急池上線の蒲田寄りの駅で、駅前の五叉路の一本が本門寺への参道でした。参道商店街の出口付近で向かい合わせに並ぶ葛餅屋さんを抜けて左に折れると、正面



貫首にもご一緒いただいたの大堂内陣での記念撮影。

奥に総門と立派な石段が見えます。石段は加藤清正公が築造寄進した96段の階段で、96はお経にちなむ数とのことでした。

階段を上ると今度は仁王門が目の前に。手水を使って日蓮聖人ご尊像(祖師像)を祀る大堂(祖師堂)へ向かいました。

スタッフを入れて総勢20名が内陣に座ると、太鼓が左右で鳴り響く中、迫力あるお題目、そしてご開帳のお経が称えられました。読経後に

貫首からの

法話を拝聴させていただきましたが、北海道の礼文島出身という 貫首は、ご縁のある浄土宗僧侶や念仏の話などもまぜてのわかりやすい話をされ、やや緊張味の私たちを和ませて下さいました。そして記念写真も一緒に。

大堂を出ると今回の窓口の

上人にお迎え



その大きさから大堂と呼ばれる祖師堂。本門寺のシンボルともいえる伽藍。



お優しい人柄の 貫首は、曹洞宗や浄土宗など他宗とのご縁も深い。

霊宝殿入口で青山家ゆかりの五重塔の伏鉢の説明を受けました。



の五重塔の模様、中心の柱はないそうです。



▲ 霊宝殿(正面奥)では本門寺の檀家である狩野派の特別展が開催中でした。

いただきました。今しがた通ってきた参道に面したお寺のご住職で、増上寺(浄土宗)、本門寺(日蓮宗)、川崎大師(真言宗)、総持寺(曹洞宗)を巡る京浜四大本山巡りの担当もされていたとのことでした。そして、参拝していた大堂は戦争で焼失する前は間口25間、奥行25間、高さ25間とほぼ立方形のとても大きなお堂で、江戸庶民はこの大堂に対して、寛永寺を中堂、増上寺を小堂と呼んでいたとか。



名な人形町の人気のすき焼き店です。

昼食後は松濤園へ。豊富な地下水を利用した都内屈指の大名庭園で周遊は価値あるものでした。

そして最後はお墓と五重塔巡り。最初は、街頭テレビ時代に大活躍した力道山のお墓へ。そして紀州徳川家の姫のお墓などをお参りして五重塔へ。建立時に実際に使われていた釘を見せていただきながらの説明では、



当時の建築技術の高さが伝わってきました。

最後に奥まった場所にある紀州徳川家の姫の立派なお墓をお参りして境内ツアーは終了しました。本門寺さまの特別な計らいもあって参加者の皆さんは大喜び。帰りは本門寺名物の葛餅屋さんへ寄って解散となりました。

次回のお寺おさんぽ会は目黒不動尊、護国寺のどちらかを予定しています。



名店、今半さんのすき焼き弁当。



境内にある朗峰会館1階の今半さん。奥には松濤園が広がっている。

都内では最も古い五重塔。ちなみに都内で現存する五重塔は旧寛永寺と浅草寺を合わせ三基だけです。▼



▲ 霊宝殿内の型。本物同様に固定されている。

紀州徳川家は日蓮宗寺院を菩提寺としていたことから、本門寺にも紀州徳川家の姫のお墓が多い。



特別に入園させていただいた松濤園を背景に写真を一枚。

ご参加いただいた方から……

- 個人参拝では見られないと思っていたところもお参りさせていただき、御礼申し上げます。
- 紀州家とのつながりや狩野派のことなど知らないことを興味深く説明してくださり、大変勉強になりました。
- 場所も行程も程よく、疲れることなく楽しく学ぶことができました。

今号は檀信徒さんにとって身近に感じられる仕出し屋さん、皆さんが梅窓院で召し上がる美味しい食事を届けていただいている味ごよみ一心さんを訪れ、社長にお話しを伺いました。

◆いつも梅窓院でお世話になっておりますが、今日は味ごよみ一心さん(以下 一心)の調理場でもある会社に伺わせていただきました。調理現場も拝見させていただきたいと思っています。よろしく願い致します。こちらこそ、よろしくお願

い致します。

◆確か、一心さんは以前の屋号が藤なおさんでしたでしょうか。

はい、「藤なお」から「一心」に変わりました、私は藤なおの頃は調理長、一心では社長を務めています。

◆そうですか、梅窓院とは藤なお時代からのお付き合いですか。

ええ、もう50年になるかと思います。おそらく昭和40年代前半からですね。

また、最近では中島住職のアドバイスもあり、メニューのパンフレットを一新し、チラシの表紙には梅窓院さんの竹林の参道の写真を使わせていただいています。

◆長く、そして深いお付き合いをさせていただいているのですね。

今日は 社長の調理人としての姿を写真にと、調理場でもある芝公園の本社に伺わせていただきましたが、今も調理はされているのですか。

ええ、もちろん本業は社長なので、会社全体を見ますが、この仕事は急な仕事や一度に多くの仕事が入ることもあり、そうした時は、白衣に手を通します。

◆なるほど、梅窓院もそうですが、重なるときは重なるものなのですね。

はい、法事の会食は事前に把握できますが、お葬儀は予約なしですから。

◆おっしゃる通りです。そのお葬儀ですが、最近はいぶ変化しているようですが。

そうですね、私共は慶弔ともにお手伝い致しますが、法事や葬儀は参列される方が減りましたね。素人考えですが、高齢化もあり、身内の方中心の儀式に変わってきているのではないかと思います。

◆話を戻しますが、仕事柄の急な仕事もある中での苦労はありますか。

ないと言えば嘘に聞こえるかもしれませんが、長年の経験の蓄積、そして今は冷凍技術も進歩したので、ほとんど問題なく仕事を受けられています。



調理場で料理を詰める 社長。
忙しい時はこうして現場にも立っているという。



中島住職と並ぶ 社長。
本社前で配送の車と一緒に。

◆それはすごい。

ですが、人手を手配するのが一番大変ですね。まずは作り手ですが、それに加えて運び手、そして仕出し先での手伝いもありますから。加えて年中無休ですから。◆なるほど。私たちが想像しているより大変な仕事なのですね。

ところで 社長は長年料理に携わられているのですか。

はい、私は北海道の日高生まれですが、最初は札幌の料理屋で、そして上京してからは、藤なおはもちろん、築地の田村にも籍を置きました。まあ、料理人の常ですが、いくつもの職場を経験しています。珍しいのはデンマークの日本大使館で働いたことでしょうか。

◆デンマークの日本大使館というとコペンハーゲンですか。

ええ、そうです。3年ほど居ました。また、今は授業を減らしていますが、調理師学校でも教えています。

◆多岐にわたってご活躍されているのですね。

いえいえ、色々なご縁が繋がってきただけです。

◆そうした 社長が率いる一心さんの魅力はなんでしょうか。

一人ひとりが一つひとつ丁寧に仕事をするのでしようか。

また、一心に任せようと思ってもらうには美味しい料理であることが基本。そして美味しい料理は、やはり心を込めて作ることから、ですからね。

◆なるほど。

そして、仕出しでは料理と共に器も大切ですので、すべての弁当ではありませんが、春慶塗りの器でお届けしています。

◆色々工夫されているのですね。

はい、ありがとうございます。これからもよろしく願い致します。

◆一心さんの美味しいお料理、これからも楽しみにしています。

社長は料理に携わり
続けている職人でもある。

青山散歩道



今回は表参道交差点から徒歩五分の所にあります、大人の隠れ家居酒屋「豊和」をご紹介します。

表参道の路地裏に佇む古民家を改装したお店はノスタルジックな雰囲気があり、入る前からワクワクさせてくれます。店の「豊和」は大将の伊藤豊和さんの名前からとり、読み方を「ほ



古民家を改装したお店はノスタルジックな雰囲気抜群です。

豊和

「うわ」にしたとのこと。また、伊藤さんは元プロボクサーという異色の経歴の持ち主で、過酷な減量中で少ししか食べられないなら美味しいものを食べたいと思ひ、食への興味をもち始めたのが飲食業界へのきっかけだそうです。

お店の押しは百羽に羽しかとれない比内地鶏の白レバーと熊本産の馬刺しです。毎日、秋田の養鶏場から直送される比内地鶏はお肉の甘みと食べ応えがあるのが特徴的です。

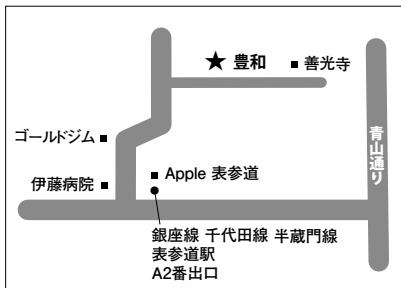
馬刺しは特にいい霜降りのもので、用しており、口に入れた瞬間とろけるような脂の旨味が広がります。

梅窓院から距離はありますが、ゆつくり青山の街をお散歩しながらお店に向かうのはいかがでしょうか。

ぜひ、表参道の隠れ家まで至福の時間をお過ごし下さい。



豊和プラン(大皿)6000円
極上馬刺しと比内地鶏が楽しめる贅沢なコースです。



営業時間/
ディナー(月~土)17:00~23:30
(L.O.22:30、ドリンクL.O.23:00)
(祝日)17:00~23:00
(L.O.22:00、ドリンクL.O.22:30)

定休日/日曜
席数/95席(6名~16名まで対応できる個室あり。)
住所/東京都港区北青山3-5-44
TEL/03-5772-9564

食は命

第七十五回

食養研究家
武鈴子

手造り点滴で

熱中症を防ぐ

梅雨が明けると本格的な夏の到来。暑さに湿度が加わる日本の夏は、体にいろいろな影響を与えます。発熱・多汗・脱水症状・夏バテ・疲労・息切れ・動悸・・・これらは暑さからくる夏特有の体調不良は「暑邪」が原因。暑邪は自然界から入ってくる邪気の一つで、この邪気に体が冒されるのは高温多湿の夏だけです。

夏は、気温とともに体温も上昇するので、体は発汗によって体温を下げようとしますが、その汗には、水分だけでなく塩分も含まれており、この水分と塩分が失われることで脱水症が起こるといいます。

人体は通常でも毎日2.5リットルの水分が尿や汗などで排出され、その失われた水分を食べ物や飲み物などで補給しています。特に夏は汗による水分排出が多いので、熱中症予防のためにも水やお茶をこまめに飲みましょう。塩分の補給は梅干し一個くらいが目安です。

飲む点滴

これはユニセフが栄養失調の子供達に飲ませている飲み物と同じです。

- ① 水1リットルに、ハチミツ(又は砂糖)大さじ4、塩小さじ半分、レモンの絞り汁大さじ2
- ② ①を空のペットボトルもしくは水筒などに入れ、ハチミツ(砂糖)、塩が完全に溶けるまでよく振り混ぜます。



青山俳壇

選者「ウェブ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○骨酒にひとひら浮かぶ梅見かな

◎入選

○川岸の囀りに癒さるるか

○入社式忘れてならぬその初心

○朝日背に丘の桜は咲きにけり

○螢鳥賊酢味噌に和へて酒すすむ

○それとなく拾つてみたる桜貝

○青き踏むシャツのボタンは貝ボタン

○引つ詰め少女の額風光る

○土もたげ土付けて咲く初すみれ

○メーカーの帽子配られ農具市

○草餅を二つ求めて帰りけり

○仰ぎ見る枝垂桜や空まさを

◎選者詠

○刷け雲のゆるゆる移る抱卵期

大崎 紀夫

◎ワンポイントアドバイス

海外詠は難しい、とかなり長い間いわれてきました。しかし、近年は外国へ行く人が多く、その地の風物などを句に詠む機会が増え、そのせいか海外詠は難しい、という人は少なくなりました。どこに句と、その地の自然に素直に向き合えば、句は出来るということでしょう。歴史や固有な名詞に余り拘わらない方がいいということかもしれません。

投句募集

今回は「夏の季語」でご自由にお詠み下さい。7月1日を締切り、9月発送の『秋彼岸号』にて発表致します。
住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さいませ。
皆さまの投句をお待ちしております。
〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。
ウェブ編集室
電話03-5368-1870

行事予定

開山忌法要・能楽奉納

6月8日(土)

写経 午後2時～ 客殿

法要 午後3時～ 本堂

能楽 午後4時～ 祖師堂

(演目:半能「敦盛」予定、出演者:橋本忠樹 他)



昨年の開山忌法要・能楽奉納の様子。

第77回 念仏と法話の会

6月18日(火)

11時30分～(受付11時より開始)

法話:幸せを呼ぶ心とは?

講師:静林寺住職 入江康隆上人

※詳細は梅窓院ホームページをご覧ください。



昨年の念仏と法話の会の様子。

お盆

7月13日(土)

半齋別時會

午前11時～ 祖師堂

お齋(お食事をいただきます)

午前11時30分～ 観音堂

盂蘭盆會法要

午後12時20分～ 祖師堂

※詳細は3面をご覧ください。

発行 梅窓院
発行日 令和元年6月1日
発行人 中島 真成
編集 青山文化村
住所 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 03-3404-8447
FAX 03-3404-8107
ホームページ <https://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail jodo@baisouin.or.jp
題字 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

梅窓院にお墓を求めの方で寿陵墓(生前に建てるお墓)もとても多いのですが、10年以上前に墓所を求めた方が先日、久しぶりにお墓を見に来られました。当時、私も墓前での記念撮影をご一緒したようで懐かしい写真を見せていただきました。梅窓院に来る前に白内障の手術をされたそうで視界がとてきれいに見えるようになったと言いながら「森さん老けたなあ。」大きなお世話です・・と大笑いしました。同じような方がいらっしゃいましたら手術前にお越し下さいね。

さて、皆さまにお願いです。墓所の雑草が気になる季節になりました。お参りに来てお墓の汚れ、雑草に驚かれた方から至急掃除して!など日時指定のご依頼がごさいます。命日などの代参については日時指定のご依頼をお受けしておりますが掃除、草むしりについての指定はお控えいただいております。何卒ご了承下さい。

(墓苑部 森)

お檀家さんに伺いました

平成31年春彼岸法要にて

「魅力的な行事だと思います。」

本日は動物慰霊法要から春彼岸法要まで参加しました。

父が亡くなってから始めて迎える彼岸でしたので今年は特別な気持ちで参拝致しました。

また、梅窓院の春彼岸は法要以外に呈茶や寄席など、たくさんの催しが開催されており魅力的な行事だと思います。お抹茶は苦味がなく、飲みやすくて美味しかったです。

「盛大な法要でした。」

彼岸は二回目の参加になります。

法要ではお焼香もさせていただき身を清めてお参りすることができました。

また、法要を勤めているご僧侶の人数が多いので読経に迫力があり、感銘を受けました。

梅窓院は清潔で都会の真ん中とは思えないほど心が落ち着く素敵な場所だと思います。